

緊急時の対応

大地震により、万一堤防が決壊する恐れがある場合は、下記の連絡体制で区民の皆様には状況を連絡します。区民の皆様はハザードマップを参考にして、避難場所に指定している『**南区公民館**』へ避難してください。

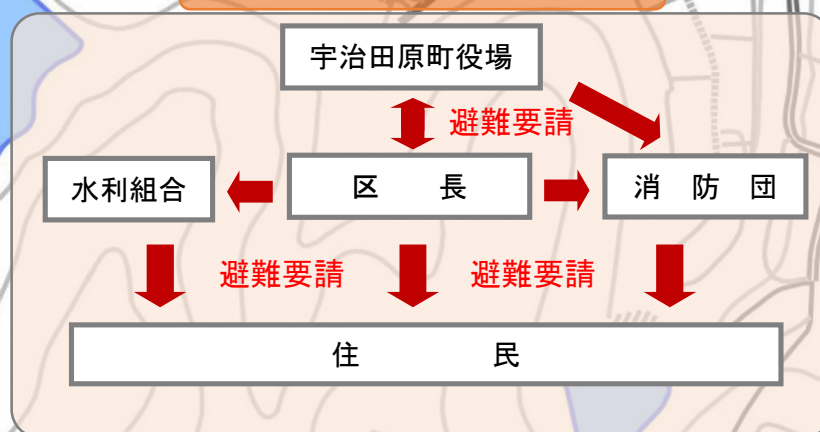
凡例

	避難場所
	浸水想定区域
	避難経路
	一時避難経路

最大水深	
	3.0m以上
	1.0m以上～3.0m未満
	0.5m以上～1.0m未満
	0.5m未満

到達時間	
	1分
	2分
	5分（浸水区域最下流）

緊急連絡体制



避難場所および経路

避難場所
南区公民館



避難時の注意事項

- ・災害が発生した場合、速やかに被害想定区域外へ避難してください。外出が危険な場合は家屋の高い所へ**垂直避難**してください。
- ・避難の際は、**高齢者等への声掛け・手助け**を行い、地域住民の皆さんで助け合って避難してください。
- ・万一集中豪雨と重なった場合、浸水想定範囲が広がることが想定されますので、十分注意してください。

このハザードマップに示した被害想定区域は、当該ため池が満水状態で決壊した場合のシミュレーション結果をもとに示しています。**（豪雨や台風等による降雨量は考慮していません。）**決壊の状況により、被害想定区域が変化する恐れがありますので、ご注意ください。

うら面にため池ハザードマップ（維持管理編）があります。

土砂災害警戒区域

土砂災害警戒区域（土石流）

土砂災害警戒区域（急傾斜地）

土砂災害警戒区域（地すべり）

土砂災害特別警戒区域

土砂災害特別警戒区域（土石流）

土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）

洪水・土砂災害ハザードマップ



本ノ谷池

高台へ避難してください

高台へ避難してください

1分

2分

5分

（都）宇治田原山手線（主要地方道宇治木屋線）

0 50 100m

皆さんの生活している周辺には、地域の大切な資源が多くあります。
今回は本ノ谷池について、災害を未然に防止するために必要な維持管理などを紹介します。
(本維持管理編は、ため池管理者（関係者）の方に取り組んでいただく内容をまとめています。)

- ・ 本ノ谷池
所在地：宇治田原町大字南小字本ノ谷
規模 堤高（堤防の高さ） $H=9.0\text{ m}$
堤長（堤防の長さ） $L=47.0\text{ m}$
貯水量（池の中の水の量） $V=9,500\text{ m}^3$ （満水時）

全 景



下流風景



緊急時の対応

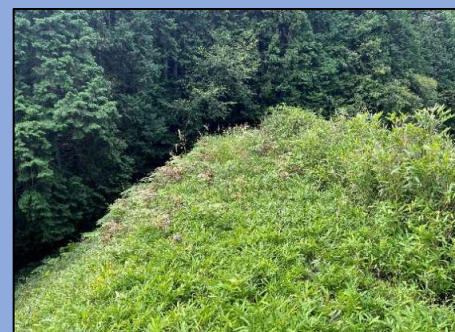
- ☆大きな地震が発生し、ため池の決壊が直後に起こらなかった場合は、堤防の状況の確認に行きましょう。
- ☆途中で濁水等の発生を確認した場合は、速やかに浸水想定範囲から離れてください。
- ☆堤防の変形、亀裂、漏水の状況について確認しましょう。明らかに異常がみられる場合は、決壊の恐れがありますので、住民の皆さんへ注意喚起を行ってください。

維持管理の方法

- ☆堤防の法面に亀裂や漏水がないか確認しましょう。
- ☆放水路の掃除や草刈りを毎年1回以上行い、落ち葉などが堆積していないかを確認しましょう。

通常時の維持管理

ため池を安全に使うためには、日常の管理がとても大切です。
適正な管理を行ってれば、災害を未然に防ぐことができます。



堤 体

- ・ 草刈りを定期的に行いましょう。
- ・ 漏水状況や法面の状況（亀裂・凹凸）を点検しましょう。



洪水吐

- ・ 土砂やゴミが詰まると、池からの水が流れにくくなり、ため池が危険な状態になります。



放水路



取水施設

- ・ 大雨による水位上昇が予想されるときは、早めに水位を下げましょう。
- ・ 年に1回はため池を空にして、周辺に溜まった土砂を除去し、普段目に見えない部分も点検しましょう。

住民の皆様へのお願い

- ☆堤防の法面に亀裂や漏水を発見したときは、役場産業観光課まで連絡をお願いします。
- ☆地域に生息しない魚や植物の持ち込みを見かけたら注意をするか役場産業観光課まで連絡をお願いします。